

障がい理解のための啓発事業について

相談支援事業所連絡会

昨年度までの相談支援の活動の中で出てきた課題に基づき、幅広く障がいについての理解を広めていくために、啓発事業を実施するように計画をしてきた。今年度から「チーム・メッセンジャー」と命名したキャラバン隊を結成し活動を開始している。

1 広報手段

4月以降、パンフレットの配布を開始し、さまざまな関係機関等の窓口に設置してもらっているほか、私立幼稚園園長会や商工会議所関係者の方たちのところへ出かけて随時PR活動を行なっている。また、子どもたちや保護者へも働きかけようと、PTA活動に組み込んでいただけるような提案や中学校の職業学習への提案も開始している。

その他に、市広報やホームページ、新聞掲載なども行なっている。

2 実施例

- (1) 日 時 平成 21 年 4 月 30 日 (木) 10:40~11:40
- (2) 対象者 社会福祉協議会 にこにこヘルパー 56名
- (3) 実施者 JHN まある
- (4) テーマ にこヘル活動における うつ病との関わり
- (5) 方 法
 - ・簡単なレジュメを作成
 - ・最初にうつ病がどのような病気なのかを説明し、その後、対応の仕方で気をつけることなどを話す。
 - ・質疑応答の時間を設けて対応した。
- (6) アンケート結果(56名中15名回収)
 - ・9割以上が「良く分かった。」「うつ病が治るといこともわかりました。」「相談窓口があることは大変心強いです。」「薬に対しては少し疑問がありましたが、とてもわかりやすく理解できました。」などのプラスの感想だった。
 - ・精神科医療や精神科薬に関する不信感・嫌悪感を記載されている方がみえたが、そのような方が現在も多くみえるのが現実だと思うので、今後も地道な活動を続けていく意味があると実感した。
- (7) その他
 - 終了後も複数の方から質問や相談などあり、対応した。

3 現在までの経過および今後の予定

- あつとわんは問い合わせが7件あり。
実施予定はPTA関係で平成22年2月に決まっている。
- JHN まあるは問い合わせ、既に実施した上記も含め4件あり。
実施予定は介護保険関係で6月19日に決まっている。
- 今後も随時、各事業所への申し込みに対応していくが、通常の相談業務に支障がないペースを確保しながら実施していく予定。
- パンフレットに載せている内容は一例であって、依頼された方たちの希望や状況に応じて相談しながら実施内容を決めていく。
- 依頼を待っているだけでなく、理解を深めていただきたいところへは、こちらから働きかけて何かしらの繋がりを持っていき、実施に向けて努力していきたい。